

認知症作業療法 活動報告（概要）

福島県作業療法士会では、県の地域医療介護総合確保基金事業を今年度も申請し、「認知症ケアに携わる人材育成のための研修会」を4回開催（開催予定）。その他、認知症初期集中支援事業や地域の行事に各市町村からの依頼を受け、各施設で協力を行なっている。また、つながりから士会を通さず講師や相談の依頼を受けて行なっている。

認知症研修事業

- ①認知症ケアに携わる人材の育成のための研修：◎基礎研修 1回（世界の動向、認知症の基礎知識、アセスメントについて）◎特別研修 1回（シンポジウム「認知症になっても住み慣れた地域で、地域の一員として暮らしたい」：地域包括支援センター、認知症の人と家族の会、認知症カフェの各立場からの意見、事例検討）◎応用研修 2回（認知症の対応の実際と課題－認知症専門棟、一般病棟（急性期）、介護保険分野、地域包括、初期集中チームの各立場から講義）昨年までと比較して、今年度はOT以外の職種の参加が多くなっている。
- ②今年度も認知症介護指導者として2名が登録され県の認知症介護の企画運営を行なっている。また、介護支援専門員の専門研修や主任研修等へ講師として協力している。
- ③認知症サポーター養成講座や自施設内や他団体より講習依頼を受け都度実施している。



多職種で事例検討

認知症カフェ事業

昨年立ち上げた会津・南会津支部で認知症カフェを継続中。会津若松には現在8箇所があるが、それぞれのカフェの特徴をお互いに知り、それを活かしていけるよう会津認知症カフェ連絡会立ちあげた。その他、県内各関係団体で行なわれている、カフェに運営員として参加したり、協力支援を行なっている。



行政や他団体との協力

市町村のイベントへの参加、認知症の人と家族の会の活動、県の若年性認知症施策部会、認知症医療介護連携推進会議委員などへの協力を行なっている。

今後の展開

- ・研修事業を継続していくために、今後は各支部単位で行なえるよう、講師を務めることが出来る人材の育成を行なっていく。
- ・認知症ケア専門士、認知症ライフパートナー、認知症介護指導者など関連資格の活動の中でも、作業療法士の特性を活かしていく。

